ハンフリー 恵子 Keiko HUMPHREY

教員の教育・研究活動報告

役職／職名	学長特別補佐／英語教育担当主任／教授主任／教授	所属	外国語学部 英米語学科
ふりがな	はんふりー けいこ	生年	
学歴	京都大学文学部文学科アメリカ文学専攻卒業 南山大学大学院文学研究科英文学専攻博士前期課程修了 京都大学大学院文学研究科英語学英米文学専攻博士後期課程単位取得満期退学 University of Birmingham, MA (TEFL/TESL) 修了		
学位	修士（文学） MA in TEFL/TESL		
研究分野	英米・英語圏文学		
研究テーマ	19世紀を中心としたアメリカ文学、特に Henry James の作品研究		

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
『ロマンティシズム --- 英米文学の視点から--』	共	2007. 5	英潮社	「ヘンリー・ジェイムズと『映画視点のマンスフィールド』--」pp.193-205（査読あり）
『文学とサイエンス --英米文学の視点から--』	共	2010. 6	英潮社フェニックス	「ヘンリー・ジェイムズの論理や誤に満ちた科学の影」pp. 119-134（査読あり）
『超自然 --- 英米文学の視点から』	共	2016. 6	英宝社	「ヘンリー・ジェイムズと幽霊の話 --- 十九世紀末作品を中心として ---」pp. 145-158（査読あり）
『世界文学の小宇宙 1　悪魔にもらった眼鏡』	共	2019.4.	名古屋外国語大学出版会	「ことの顛末」
『小学生から知っておきたい　英語のトリデナ』	共	2024.3	J.リサーチ出版	第４章
『異質なるもの --- 英米文学の視点から』	共	2025. 6	英宝社	「ヘンリー・ジェイムズを軸とする異質な語者たち --- ヴィクトリア朝における文学の限界とメタ言語の意味 ---」pp.59-75（査読あり）
English Language Teaching: Current Issues and Future Prospects II -- Enhancing Collaboration with Related Disciplines	共	2026. 4	Springer (Springer Nature, Singapore)	"Reading Classic Novels in the L2 Classroom: Enhancing Proficiency Through Cultural Understanding" pp121-128

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
「"the real thing" を求めて --- Henry James の "The Real Thing" ---」	単	1996.10	Albion 42（京大英文学会）	（査読あり）
「"things" をめぐる人々 --- ヘンリー・ジェイムズの『ポイントンの蒐集品』 ---」	単	1996.11	『文学と評論』第２集第１３号	（査読あり）
「'Maisie の "知った" こと --- Henry James における金銭的価値の二重性 ---」	単	1998.11	『関西アメリカ文学』第３５号（日本アメリカ文学会関西支部）	（査読あり）
「"禁断の木" から "道の辛" へ --トニ・モリソンの『ソロモンの歌』 ---」	単	2000.2	TABARD15（神戸女子大学英文学会）	（査読あり）
「世紀末イギリスの社交界に見られる金銭的価値観 ---Henry James の The Awkward Age ---」	単	2001. 2	TABARD16（神戸女子大学英文学会）	（査読あり）
「Henry James の遺言への認識---"The Aspern Papers" を手がかりとして---」	単	2002. 2	『名古屋外国語大学　外国語学部紀要』第２９号	
「'Gulf Effie は救われたのか --- Henry James の The Other House ---」	単	2003. 2	『名古屋外国語大学　外国語学部紀要』第３０号	
「'檻にとらわ James --- "In the Cage" の女主人公の視点を手がかりとして ---」	単	2003. 8	『名古屋外国語大学　外国語学部紀要』第３１号	
「'異質関係の存在意味と作品の持つ理解性：ヘンリー・ジェイムズの『ねじの回転』試論」	単	2007. 2	『名古屋外国語大学 外国語学部紀要』　第３２号	
「ヘンリー・ジェイムズの子供たち --- 『ねじの回転』に注目をして ---」	単	2015. 2	『名古屋外国語大学 外国語学部紀要』　第４４号	
「檻で語る物語 --- ヘンリー・ジェイムズの『フランシド・スクエア』」	単	2016. 11	『文学と評論』第３集・第１１号	（査読あり）
「「私的生活」に見る、二人のヘンリー・ジェイムズ」	単	2018. 8	『名古屋外国語大学論集』　第３号	
「ヘンリー・ジェイムズの『主論の地』を読む：岩術と六美の保障で」	単	2020. 2	『名古屋外国語大学論集』第６号	
「大美に悩える作家たち：ヘンリー・ジェイムズの『ライオンの爪』を中心に知編り読を読む）」	単	2021.5	『Artes MUNO』vol.6	
「大美化する文学と読者たち --- ヘンリー・ジェイムズの "The Figure in the Carpet" を中心に ---」	単	2023.8	『名古屋外国語大学論集』第１３号	

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
「実は1幅としての Money --- Henry James の "The Aspern Papers" ---」	単	1995.10	第34回日本アメリカ文学会全国大会	
「メイジーの "知った" こと --- ヘンリー・ジェイムズにおける金銭的価値の二重性 ---」	単	1998.10	第17回日本ナサニエル・ホーソーン協会全国大会	
「世紀末英国社交界の金銭的価値観 ― 『ポリヤ年流』論 --」	単	1999.11	京大英文学会	
「自閉する James --- "In the Cage" の女主人公の視点を手がかりとして --」	単	2000.10	第39回日本アメリカ文学会全国大会	
境界見られる作家たち---ヘンリー・ジェイムズの "The Figure in the Carpet" を中心に	単	2022.12	日本ナサニエル・ホーソーン中部支部研究会	
ヘンリー・ジェイムズの美的アメリカ：Daisy Miller (1878) を読む	単	2025.3	日本ナサニエル・ホーソーン中部支部研究会	

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
大学・外国語学部教務委員会	2013.4-	
大学FD委員会	2013.4-	
英米語学科リーディングプログラム　全体コーディネーター	2015.4-2021.3	
教育改革推進室　（学部再編部会、教育改革部会）	2015.4-2020.3	
名古屋外国語大学論集委員会	2017.4-	
教学マネジメント推進室　教学マネジメント部会	2020.4-2021.3	
国際交流委員会	2020.4-	
教学マネジメント推進室　教育改革構築部門	2021.4-	

作成した教科書

教科書名（対象講義名）	単・共	年月	備考
『先生が薦める英語学習のための特選映画100選～社会人編』	共	2017. 4	
『世界教養72のレシピ』	共	2018. 9	
『名古屋外大が手ミに贈る世界の長編小説40』	共	2024. 4	

主な職務上の業績

資格・免許

資格・免許の名称	取得年月	発行者・登録番号	備考
高等学校教諭第一種免許（英語）	-	京都府教育委員会	
中学校教諭第一種免許（英語）	-	京都府教育委員会	
高等学校教諭専修免許（英語）	-	愛知県教育委員会	
中学校教諭専修免許（英語）	-	愛知県教育委員会	

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
日本英文学会 日本アメリカ文学会 京大英文学会 日本ナサニエル・ホーソーン協会 日本ウィリアム・フォークナー協会

所属学会役員歴等

所属学会及び役員名	期間（年月）	備考
日本アメリカ文学会　中部支部　編集委員	2026.4 ～	

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
2001-2007	名古屋外国語大学外国語学部英米語学科講師	
2007-2016	名古屋外国語大学外国語学部英米語学科准教授	
2016-	名古屋外国語大学外国語学部英米語学科教授	

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
英語圏文学A	外国語学部・英米語学科
英語圏文学研究A 1,2	外国語学部・英米語学科
英米語ゼミナールB-1-2	外国語学部・英米語学科
英米語ゼミナールB-3,4	外国語学部・英米語学科
英米文化の成り立ち	外国語学部・英米語学科
世界文学A	教養教育推進センター（CLAD）
世界の文学と文化	世界教養学部・世界教養学科

授業の改善と工夫

改善と工夫内容
・映像や写真等の視覚的資料を利用し、できる限り多くの作品を鑑賞(リスニングのための)聴解授業を組合することで、学生が文学作品へのより深い興味が持てるようにエ夫をしている。 ・勉強、発表の準備をグループでディスカッションを行い、互いのアイディアを交換することで作品への理解をより深め、さまざまな解釈の可能性を探るようにしている。 ・各期間後に研究レポートを完成させ、それに個別面接でフィードバックを与えることで研究活動の基礎を学び機会を設けている。